

建設経済情報「速報値」(6月報告)

平成20年6月13日
企画部 技術管理課

<東北地方の現況と見通し>

鉱工業生産指数は2.9%上昇、有効求人倍率0.01ポイント低下など、日本銀行の地域経済報告が言う様に、東北地域の景気は、足踏み感がみられている。

一方、公共工事請負金額の総額は東日本建設業保証㈱調べでは減少傾向にあると言われている。こうした中、20年5月は前年同月比19.8%減の578億円となった。

1. 東北地方の景気動向

20年4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、108.8と前年同月比2.9%上昇、有効求人倍率(季節調整済)は、0.66倍と前年同月比0.01ポイント低下。

20年5月の景気現状判断(DI)は、30.3と前年同月比17.0ポイント低下。

2. 建設業の動向

20年4月の建設工事受注金額は、前年同月比9.0%の減。

20年4月の建築物着工床面積は前年同月比16.8%の減、新設住宅着工戸数は前年同月比20.1%の減、建設労働需給不足率は2.1%と過剰傾向。

20年5月の全企業倒産は件数で前年同月比24.2%の増、負債額は前年同月比16.0%の減少。

なお、建設業の倒産件数は33件(前年同月比43.5%増)、負債額は51億円(前年同月比7.4%減)と全産業で最多。

目 次

< 施工 >

公共工事請負金額	1
建設工事受注金額	3
建築物着工床面積	5
新設住宅着工戸数	7
19 年度事業費等見込み額	9

< 労働 >

建設労働需給の不足率	10
------------	----

< 倒産 >

企業倒産	11
------	----

< 景気 >

企業短期経済観測	13
----------	----

< 参考：主な経済指標 >	14
---------------	----

景気現状判断 (DI)

鉱工業生産指数

大型小売店販売額

消費者物価指数

有効求人倍率

完全失業率

輸出入額

施工

1. 公共工事請負金額（20年5月実績。東日本建設業保証）

東北の公共工事請負金額計は、前年同月比で19.8%減の578億円となっている。

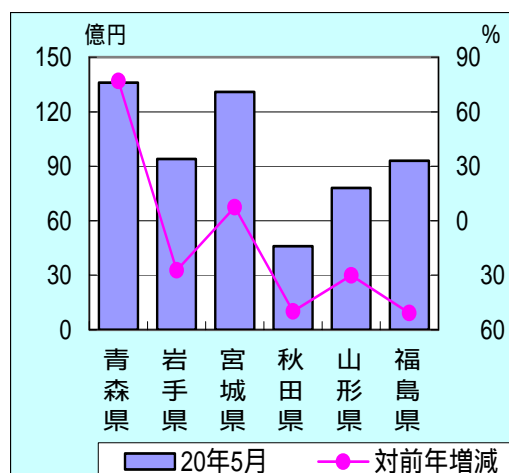
内訳は、地方公社（1,708.0%増）が増加となっているものの、市町村（49.2%減）、独立行政法人等（26.3%減）、県（22.6%減）、国（14.3%減）が減少となっている。

県別の前年同月比では、青森県（76.9%増）、宮城県（7.4%増）が増加となっているものの、福島県（50.8%減）、秋田県（49.9%減）、山形県（30.2%減）、岩手県（27.4%減）が減少となっている。

公共工事請負金額

単位：億円 %

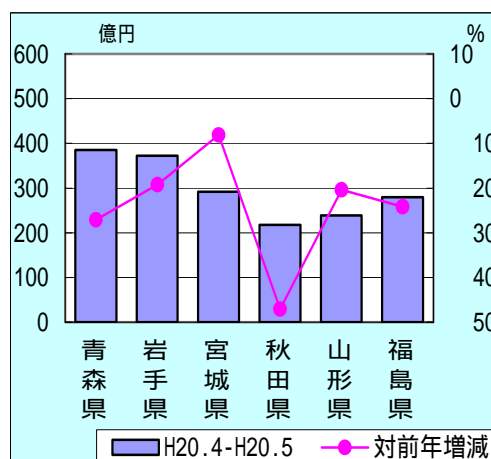
	20年5月	対前年増減
東北計	578	19.8
青森県	136	+76.9
岩手県	94	27.4
宮城県	131	+7.4
秋田県	46	49.9
山形県	78	30.2
福島県	93	50.8



公共工事請負金額年度内累計

単位：億円 %

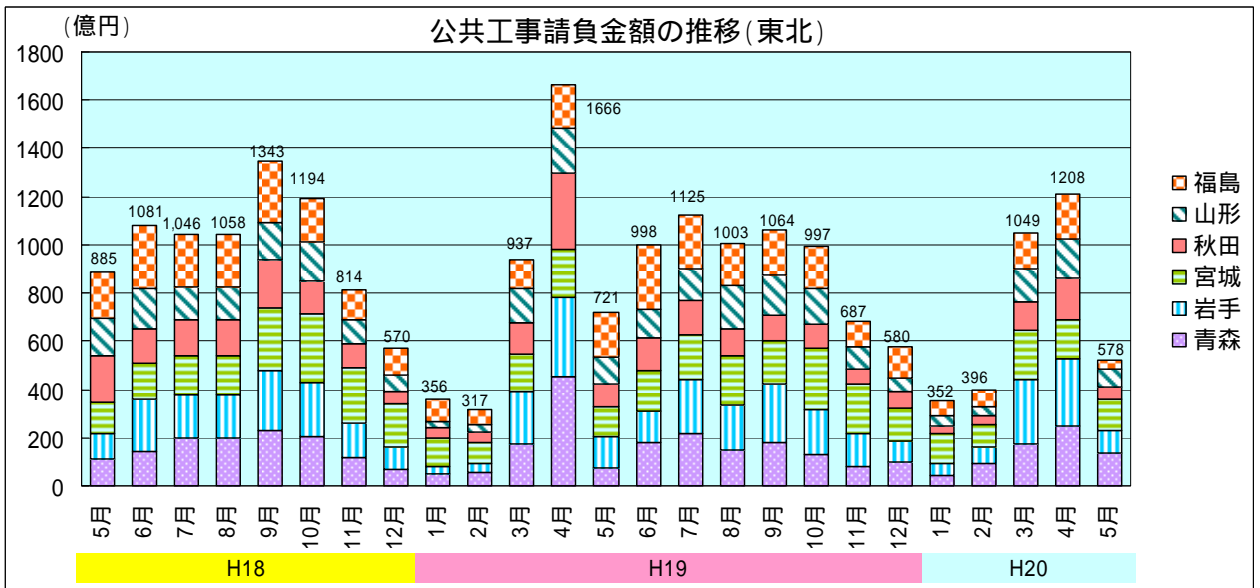
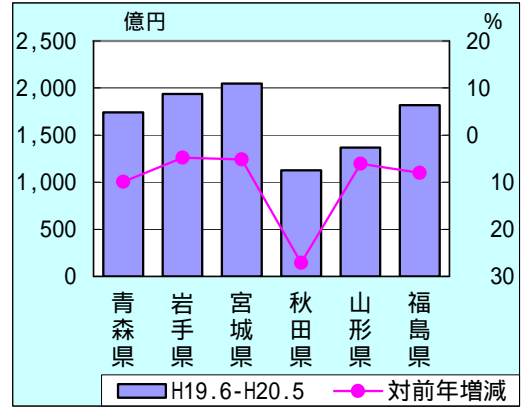
	H19.4-H19.5	H20.4-H20.5	対前年増減
東北計	2,388	1,786	25.2
青森県	528	385	27.1
岩手県	461	373	19.2
宮城県	318	292	8.1
秋田県	411	218	47.0
山形県	300	239	20.4
福島県	369	280	24.2



公共工事請負金額 1年累計

単位:億円 %

	H18.6-H19.5	H19.6-H20.5	対前年増減
東北計	11,104	10,037	9.6
青森県	1,935	1,742	10.0
岩手県	2,034	1,937	4.8
宮城県	2,157	2,046	5.2
秋田県	1,546	1,126	27.1
山形県	1,455	1,367	6.1
福島県	1,977	1,818	8.0



2. 建設工事受注金額（20年4月実績。国土交通省）

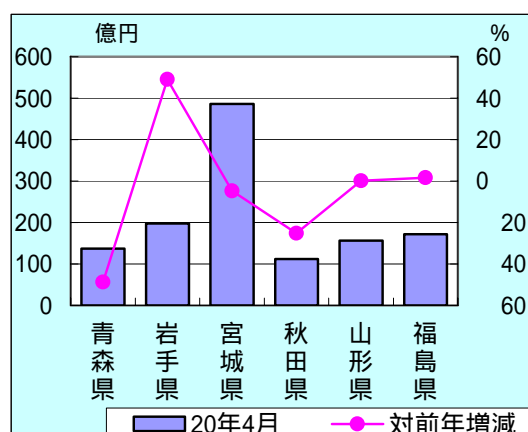
全国の受注高は3兆852億円で、前年同月比12.1%減となった。

東北は前年同月比で、岩手県（49.0%増）福島県（1.7%増）山形県（0.1%増）が増加となっているものの、青森県（48.8%減）秋田県（25.2%減）宮城県（4.8%減）が減少となり、全体で9.0%減の1,259億円となった。

建設工事受注金額

単位：億円 %

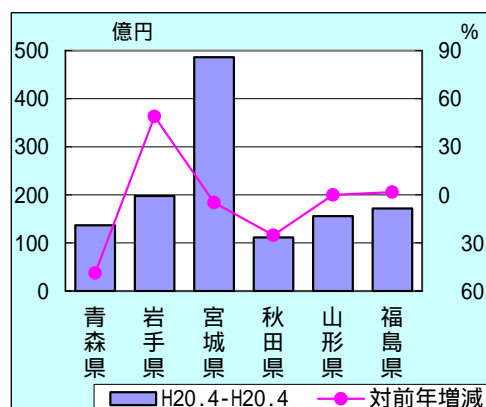
20年4月	受注高計	対前年増減
全国	30,852	12.1
東北計	1,259	9.0
青森県	137	48.8
岩手県	198	+49.0
宮城県	486	4.8
秋田県	112	25.2
山形県	156	+0.1
福島県	172	+1.7



建設工事受注金額年度内累計

単位：億円 %

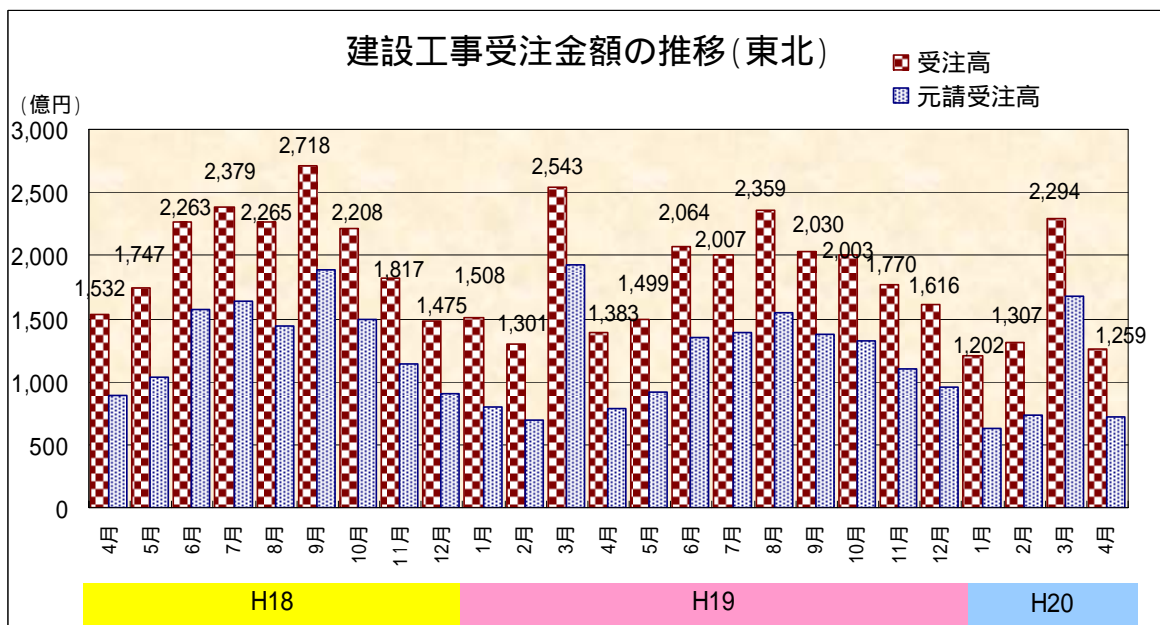
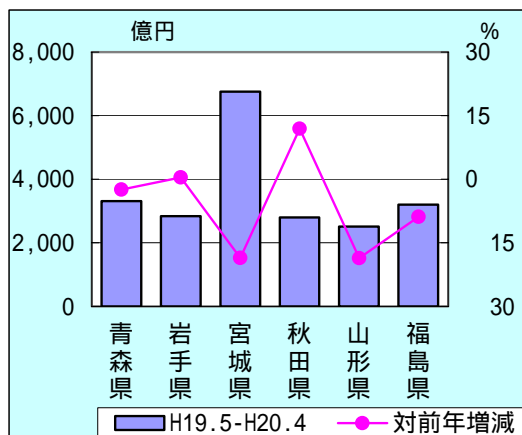
	H19.4-H19.4	H20.4-H20.4	対前年増減
全国	35,085	30,852	12.1
東北計	1,383	1,259	9.0
青森県	267	137	48.8
岩手県	133	198	+49.0
宮城県	511	486	4.8
秋田県	149	112	25.2
山形県	156	156	+0.1
福島県	169	172	+1.7



建設工事受注金額 1年累計

単位: 億円 %

	H18.5-H19.4	H19.5-H20.4	対前年増減
全 国	521,409	524,782	+ 0.6
東北計	23,607	21,410	9.3
青森県	3,390	3,309	2.4
岩手県	2,827	2,839	+ 0.4
宮城県	8,294	6,754	18.6
秋田県	2,505	2,803	+ 11.9
山形県	3,083	2,508	18.6
福島県	3,508	3,196	8.9



3. 建築物着工床面積（20年4月実績。国土交通省）

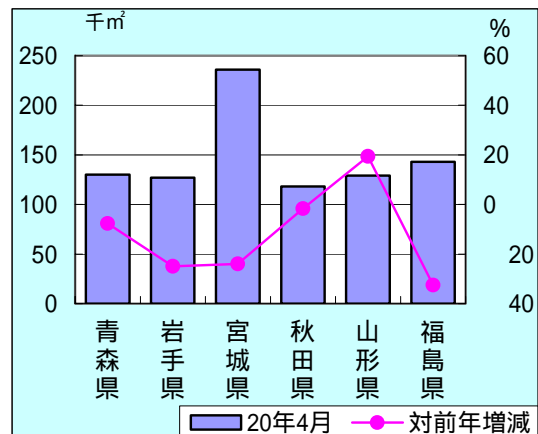
全国の建築物着工床面積は、前年同月比で、非居住用(17.2%減) 居住用(9.6%減)が減少したため、全体では12.5%減の13,962千㎡となった。

東北は前年同月比で、山形県(19.4%増)が増加しているものの、福島県(32.5%減) 岩手県(25.0%減) 宮城県(24.0%減)、青森県(7.7%減) 秋田県(1.7%減)が減少しており、全体では16.8%減の884千㎡となった。

建築物着工床面積

単位:千㎡ %

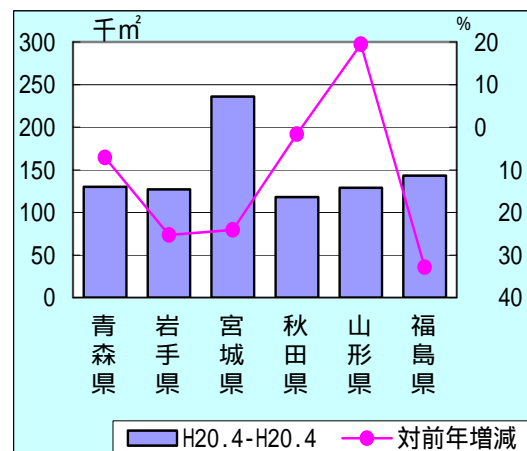
	20年4月	対前年増減
全 国	13,962	12.5
東北計	884	16.8
青森県	130	7.7
岩手県	127	25.0
宮城県	236	24.0
秋田県	118	1.7
山形県	129	+19.4
福島県	143	32.5



建築物着工床面積年度内累計

単位:千㎡ %

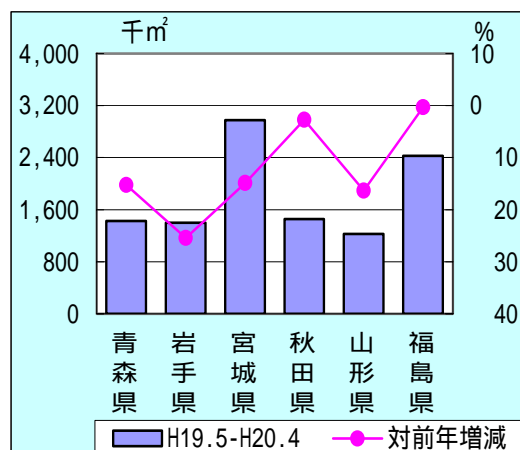
	H19.4-H19.4	H20.4-H20.4	対前年増減
全 国	15,954	13,962	12.5
東北計	1,062	884	16.8
青森県	140	130	7.1
岩手県	170	127	25.3
宮城県	311	236	24.1
秋田県	120	118	1.7
山形県	108	129	+19.4
福島県	213	143	32.9



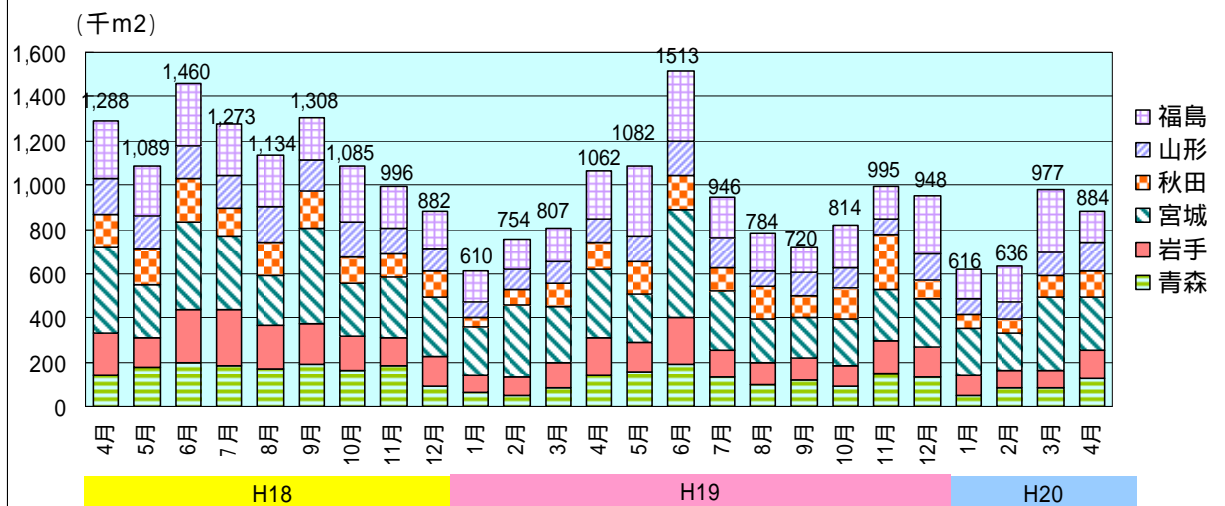
建築物着工床面積 1年累計

単位:千㎡ %

	H18.5-H19.4	H19.5-H20.4	対前年増減
全国	186,356	155,228	16.7
東北計	12,460	10,915	12.4
青森県	1,684	1,427	15.3
岩手県	1,879	1,401	25.4
宮城県	3,496	2,976	14.9
秋田県	1,499	1,458	2.7
山形県	1,469	1,229	16.3
福島県	2,434	2,426	0.3



建築物着工床面積の推移 (東北)



4. 新設住宅着工戸数（20年4月実績。国土交通省）

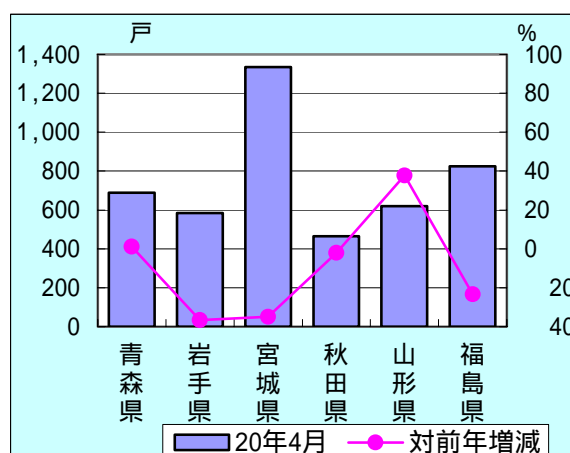
全国の新設住宅着工戸数は、前年同月比で給与住宅（76.2%減）分譲住宅（10.4%減）持家（7.8%減）貸家（5.3%減）といずれも減少したため、全体では8.7%減の97,930戸となった。

東北は前年同月比で、山形県（37.8%増）青森県（1.2%増）が増加となっているものの、岩手県（36.6%減）宮城県（34.9%減）福島県（23.3%減）秋田県（2.1%減）が減少となり、全体では20.1%減の4,517戸となった。

新設住宅着工戸数

単位：戸 %

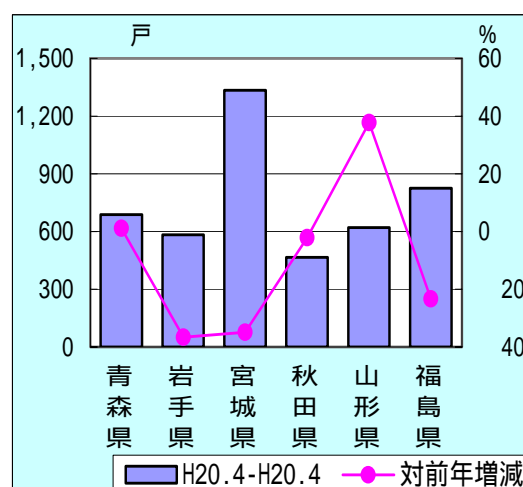
	20年4月	対前年増減
全 国	97,930	8.7
東北計	4,517	20.1
青森県	688	+1.2
岩手県	584	36.6
宮城県	1,335	34.9
秋田県	465	2.1
山形県	620	+37.8
福島県	825	23.3



新設住宅着工戸数年度内累計

単位：戸 %

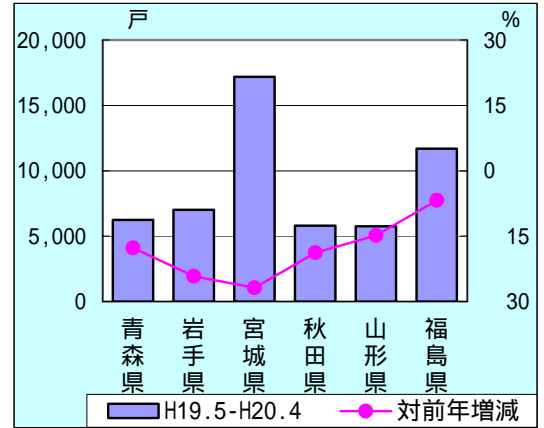
	H19.4-H19.4	H20.4-H20.4	対前年増減
全 国	107,255	97,930	8.7
東北計	5,654	4,517	20.1
青森県	680	688	+1.2
岩手県	921	584	36.6
宮城県	2,052	1,335	34.9
秋田県	475	465	2.1
山形県	450	620	+37.8
福島県	1,076	825	23.3



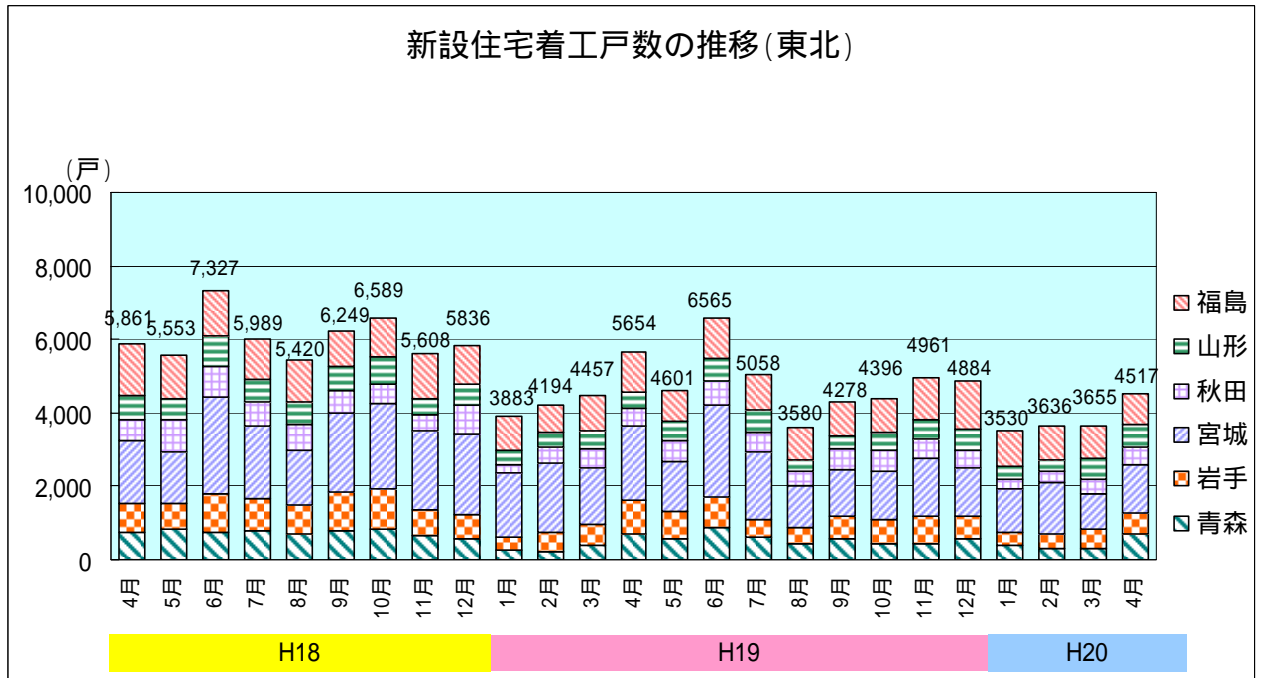
新設住宅着工戸数 1年累計

単位:戸 %

	H18.5-H19.4	H19.5-H20.4	対前年増減
全 国	1,281,241	1,026,273	19.9
東北計	66,759	53,661	19.6
青森県	7,580	6,236	17.7
岩手県	9,237	7,001	24.2
宮城県	23,489	17,178	26.9
秋田県	7,132	5,787	18.9
山形県	6,763	5,760	14.8
福島県	12,558	11,699	6.8



新設住宅着工戸数の推移 (東北)



5. 19年度事業費等見込み額

(19年12月末見込額。公共事業施行対策東北地方連絡協議会)

19年度における東北全体の事業費は1兆7,838億円、前年度同期比は8.7%減となっている。本工事費は1兆5,943億円、前年度同期比は6.1%減となっている。

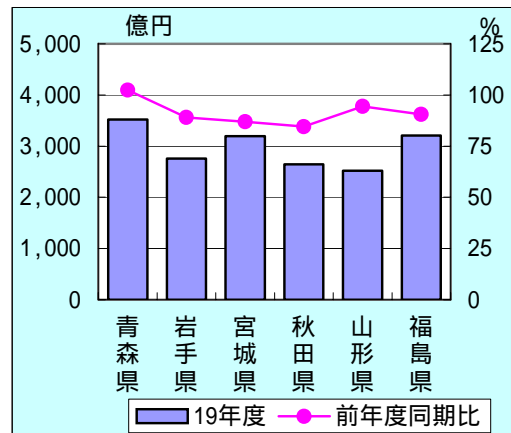
なお、第3四半期まで(4月～12月)の本工事費の発注実績額は、1兆3,216億円となり、発注率は約82.9%となっている。

19年度事業費等見込み額

1) 事業費

単位:億円 %

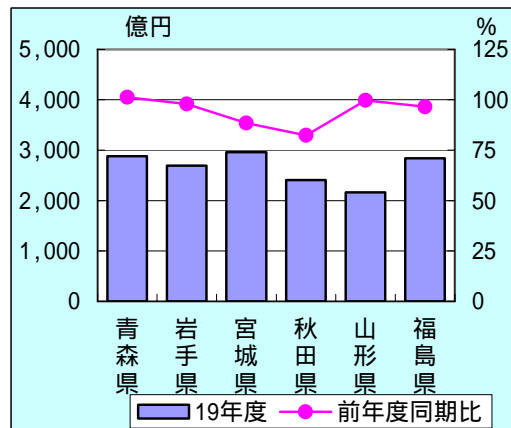
	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	17,838	19,540	91.3
青森県	3,522	3,442	102.3
岩手県	2,755	3,091	89.1
宮城県	3,196	3,678	86.9
秋田県	2,643	3,125	84.6
山形県	2,515	2,665	94.4
福島県	3,207	3,539	90.6



2) 本工事費

単位:億円 %

	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	15,943	16,974	93.9
青森県	2,882	2,846	101.3
岩手県	2,694	2,751	97.9
宮城県	2,959	3,344	88.5
秋田県	2,408	2,923	82.4
山形県	2,161	2,167	99.7
福島県	2,840	2,943	96.5



労働

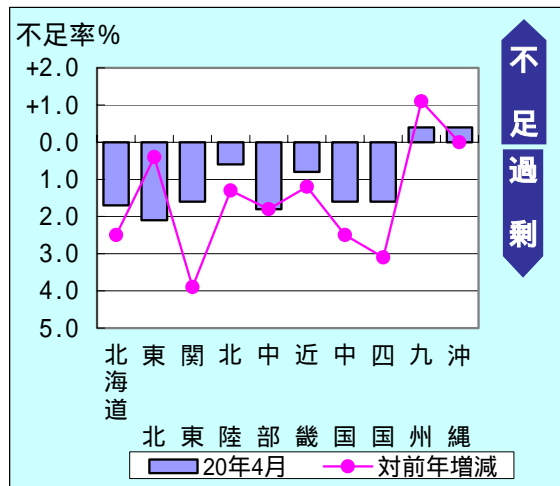
1. 建設労働需給の不足率（20年4月調査。国土交通省）

全国8職種計の不足率（原数値）は、 1.3%と過剰傾向となっている。

東北管内における不足率（原数値）は、 2.1%と過剰傾向となっている。

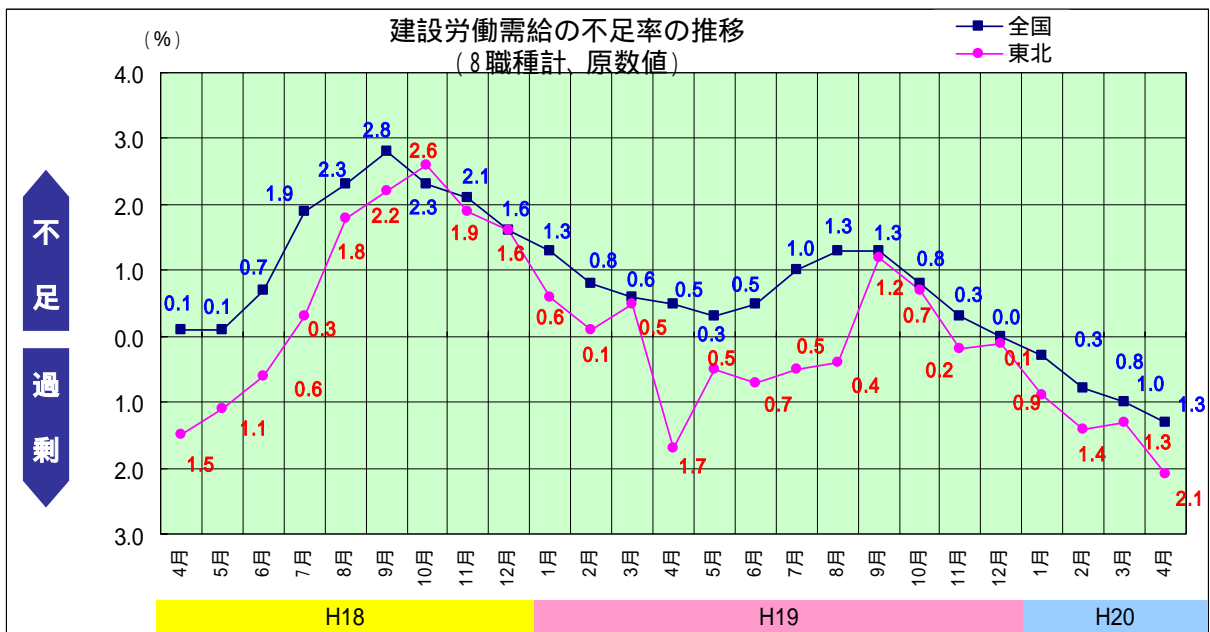
建設労働需給の不足率(8職種計。%)

	20年4月	対前年増減
全国	1.3	1.8
北海道	1.7	2.5
東北	2.1	0.4
関東	1.6	3.9
北陸	0.6	1.3
中部	1.8	1.8
近畿	0.8	1.2
中国	1.6	2.5
四国	1.6	3.1
九州	+0.4	+1.1
沖縄	+0.4	0.0



<備考>

- 1)年月欄のプラスは不足、マイナス(印)は過剰。原数値
- 2)対前年増減欄のプラス(+)は不足の方向へ、マイナス(印)は過剰の方向に変化。
- 3)8職種とは型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)、電気、配管工。



倒産

1. 企業倒産（20年5月実績。負債総額1,000万以上。東京商工リサーチ）

東北の企業倒産状況は件数において前年同月比124.2%の82件となっている。県別では、秋田県（90.9%）岩手県（40.0%）が減少となっているものの、山形県（200.0%）青森県（175.0%）福島県（170.0%）宮城県（130.8%）が増加となっている。

負債額では、山形県（147.1%）福島県（129.4%）岩手県（123.4%）が増加となっているものの、青森県（76.6%）宮城県（39.8%）秋田県（20.7%）が減少しており、全体でも84.0%と減少している。

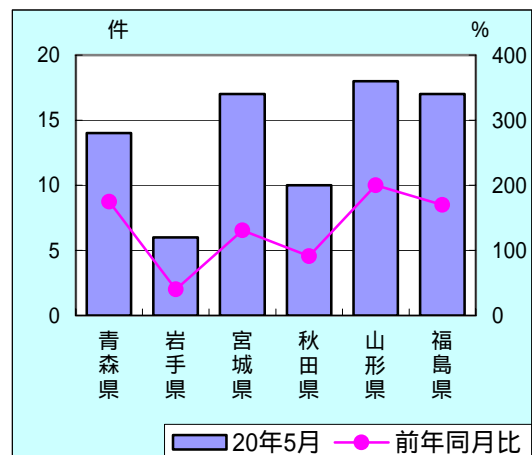
なお、建設業の倒産件数は前年同月比143.5%となっており、全産業で最多の33件となっている。

企業倒産状況

1) 件数

単位:件 %

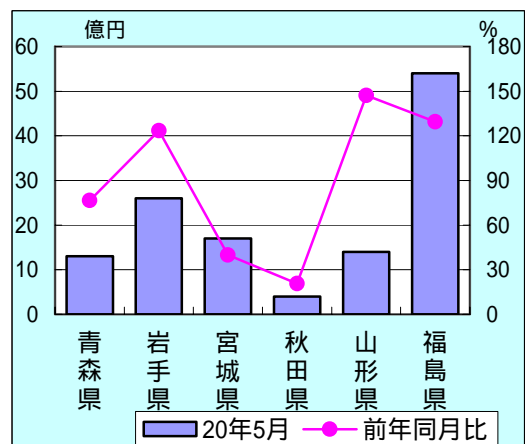
	20年5月	前年同月比
東北計	82	124.2
青森県	14	175.0
岩手県	6	40.0
宮城県	17	130.8
秋田県	10	90.9
山形県	18	200.0
福島県	17	170.0
東北計のうち 建設業	33	143.5

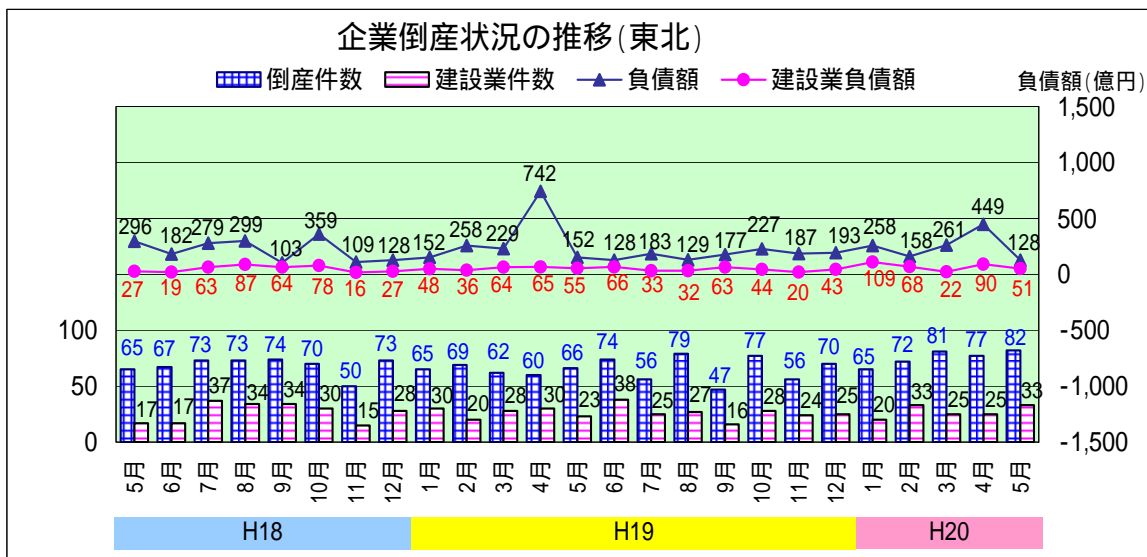


2) 負債額

単位:億円 %

	20年5月	前年同月比
東北計	128	84.0
青森県	13	76.6
岩手県	26	123.4
宮城県	17	39.8
秋田県	4	20.7
山形県	14	147.1
福島県	54	129.4
東北計のうち 建設業	51	92.6





企業倒産件数年度内累計

単位:件 %

	H19.4-H19.5	H20.4-H20.5	対前年増減
東北計	126	159	+ 26.2
東北計のうち 建設業	53	58	+ 9.4

企業倒産件数1年累計

単位:件 %

	H18.6-H19.5	H19.6-H20.5	対前年増減
東北計	802	836	+ 4.2
東北計のうち 建設業	326	319	- 2.1

企業倒産負債額年度内累計

単位:億円 %

	H19.4-H19.5	H20.4-H20.5	対前年増減
東北計	894	577	- 35.5
東北計のうち 建設業	120	141	+ 17.5

企業倒産負債額1年累計

単位:億円 %

	H18.6-H19.5	H19.6-H20.5	対前年増減
東北計	2,992	2,478	- 17.2
東北計のうち 建設業	622	641	+ 3.1

景 気

1. 企業短期経済観測

〔東北地区6県。四半期毎(3、6、9、12月)日本銀行仙台支店〕

2008年3月調査が最新のデータとなっております。

1) 業況判断

製造業については、4と前回調査(+3)に比べ7ポイントに悪化している。

- ・これを業種別にみると、鉄鋼(+46 → +23)、繊維(0 → 20)、一般機械(+21 → +6)などが悪化している。
- ・輸送用機械(+34 → +50)、化学(22 → 11)などが改善している。

非製造業については、28と前回調査(21)に比べ7ポイントに悪化している。

- ・これを業種別にみると、飲食店・宿泊(10 → 32)、リース(0 → 20)、運輸(18 → 34)などが悪化している。
- ・一方、情報通信(30 → 25)が改善している。

先行きは、製造業(4 → 8)が幾分悪化、非製造業(28 → 26)が幾分改善が見込まれている。

2) 売上高・経常利益

(1) 2008年度計画

製造業は、売上高は増収(前年度比+3.6%)計画となっているものの、経常利益は減益(前年度比-1.1%)を見込んでいる。

非製造業は、売上高は増収(前年度比+1.4%)計画、経常利益は増益(前年度比+11.8%)を見込んでいる。

3) 設備投資額

(1) 2008年度計画

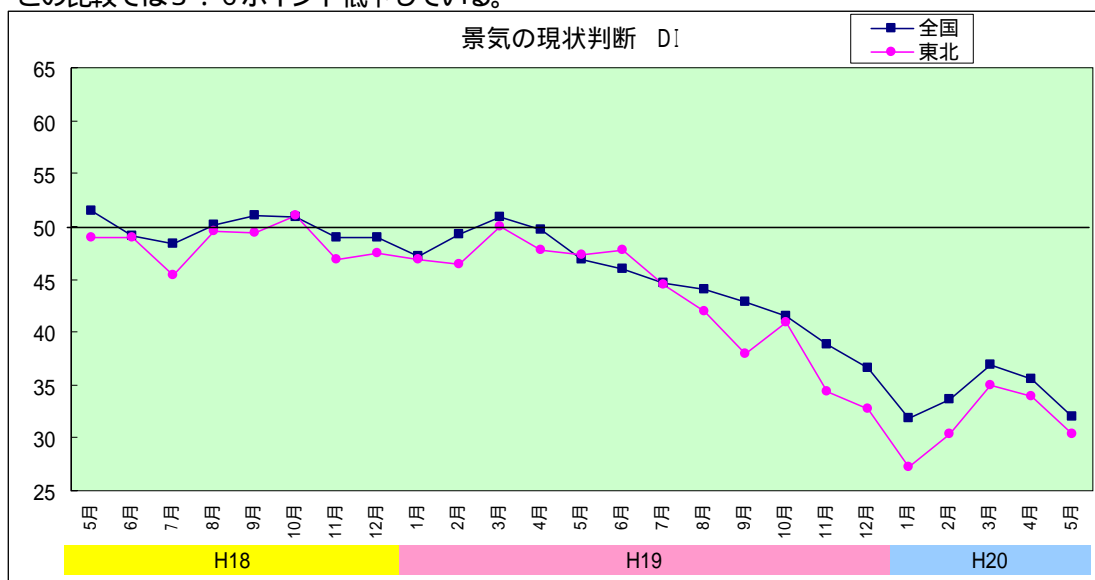
製造業は、前年度比-39.0%の計画となっている。

非製造業は、前年度比+1.1%の計画となっている。

主な経済指標

1. 景気現状判断 DI (20年5月 内閣府 景気ウォッチャー調査)

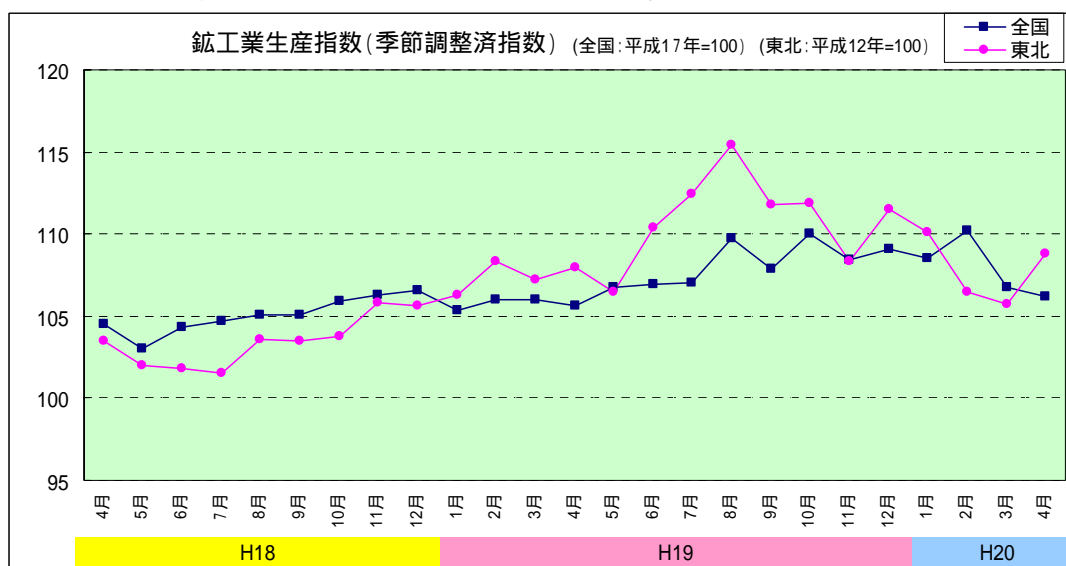
5月の現状判断DIは、30.3で前年同月と比較すると17.0ポイント低下、前月との比較では3.6ポイント低下している。



DIが50を上回れば景気は「良い」、下回れば「悪い」と判断できる

2. 鉱工業生産指数 (20年4月 東北経済産業局 東北地域鉱工業生産動向)

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、108.8(前年同月比2.9%上昇)となり、4ヶ月ぶりに上昇(前年同月比2.0%上昇)した。電子部品・デバイス工業、一般機械工業、情報通信機械工業等が上昇に寄与した。



平成17年=100(全国)

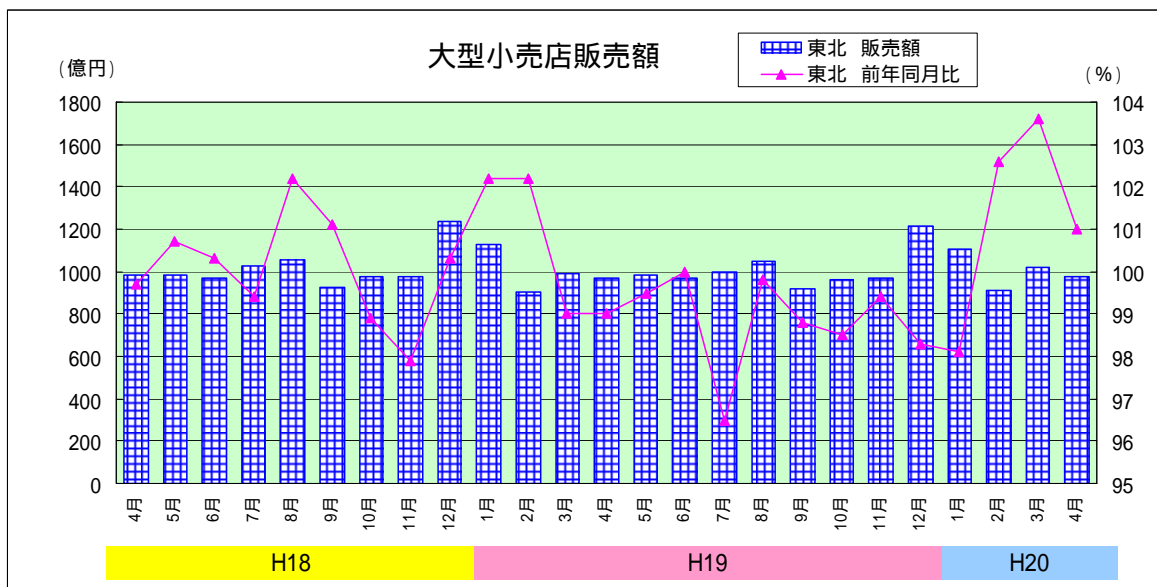
平成12年=100(東北)

最新月の値は速報値

値は季節調整済み

3. 大型小売店販売額（20年4月 東北経済産業局 大型小売店販売額動向）

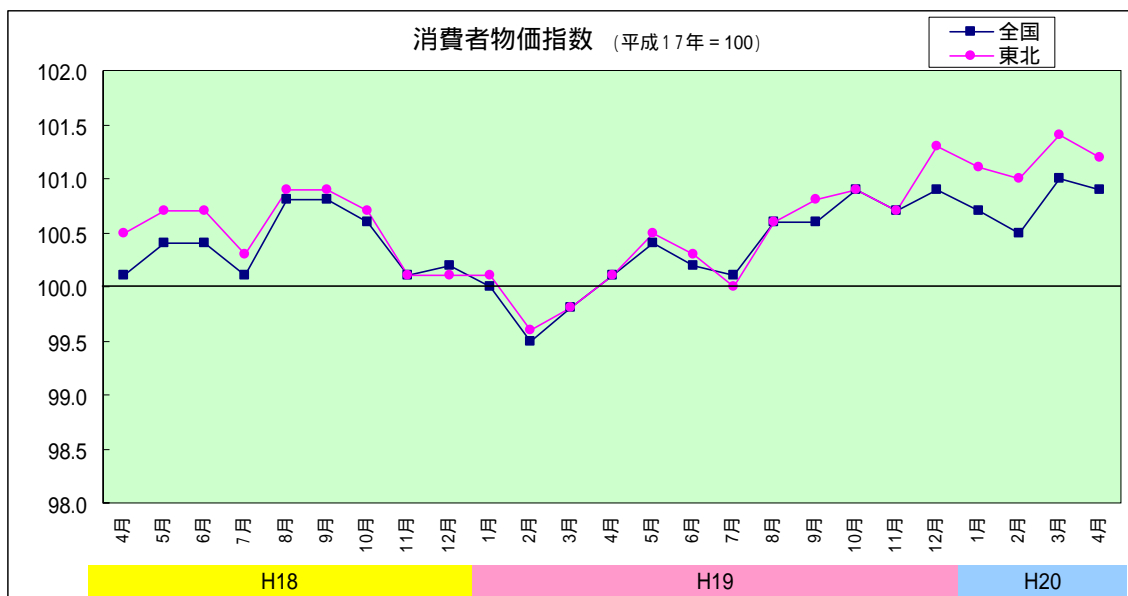
4月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比1.0%増となった。業態別では、百貨店は同2.2%減、スーパーが同2.0%増となった。



値は全店舗ベース

4. 消費者物価指数（20年4月 総務省 消費者物価指数）

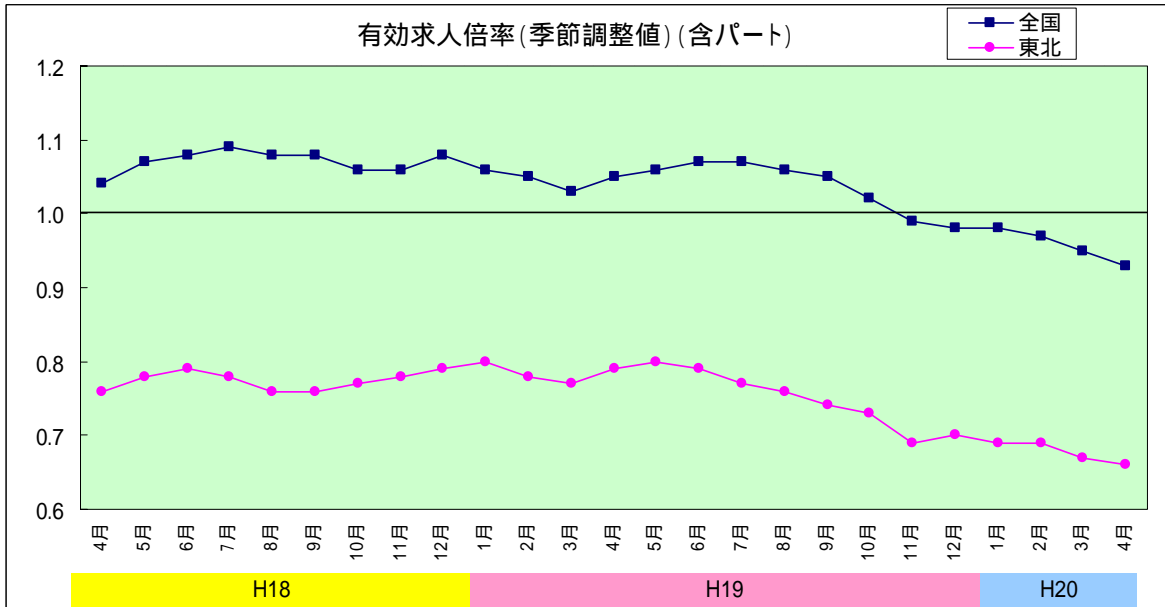
消費者物価指数は、平成17年を100として101.2となり、前月比は0.2%の下落。前年同月比は1.1%の上昇となった。



平成17年 = 100

5. 有効求人倍率(20年4月 厚生労働省 一般職業紹介状況)

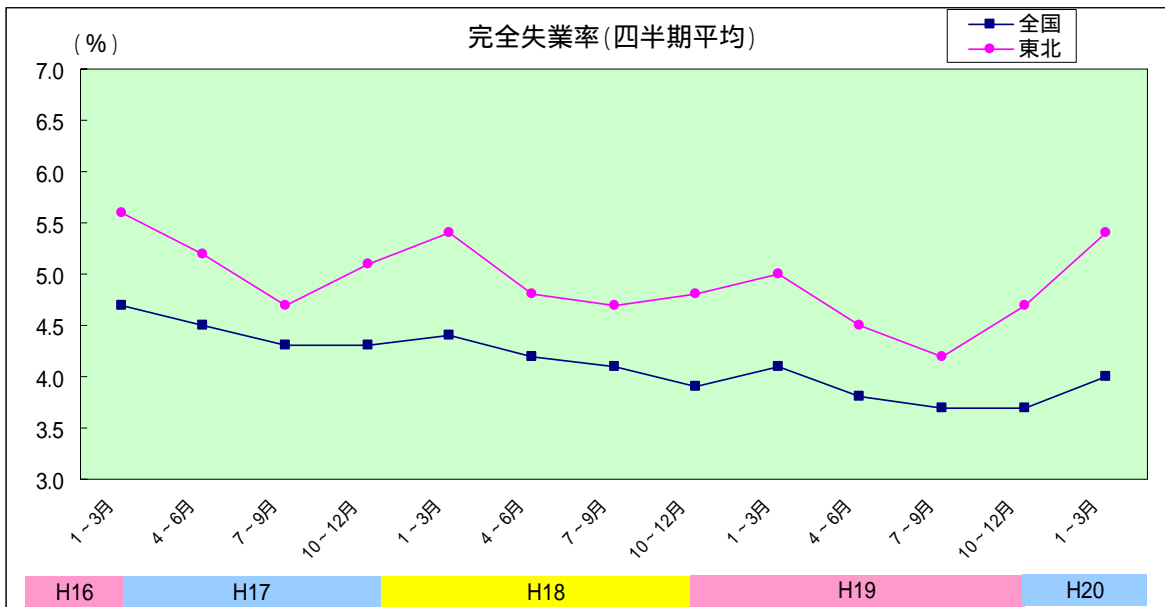
有効求人倍率は、0.66倍(季節調整値)と前月比0.01ポイント低下、前年同月比は0.12ポイントの低下となった。



値は季節調整済み

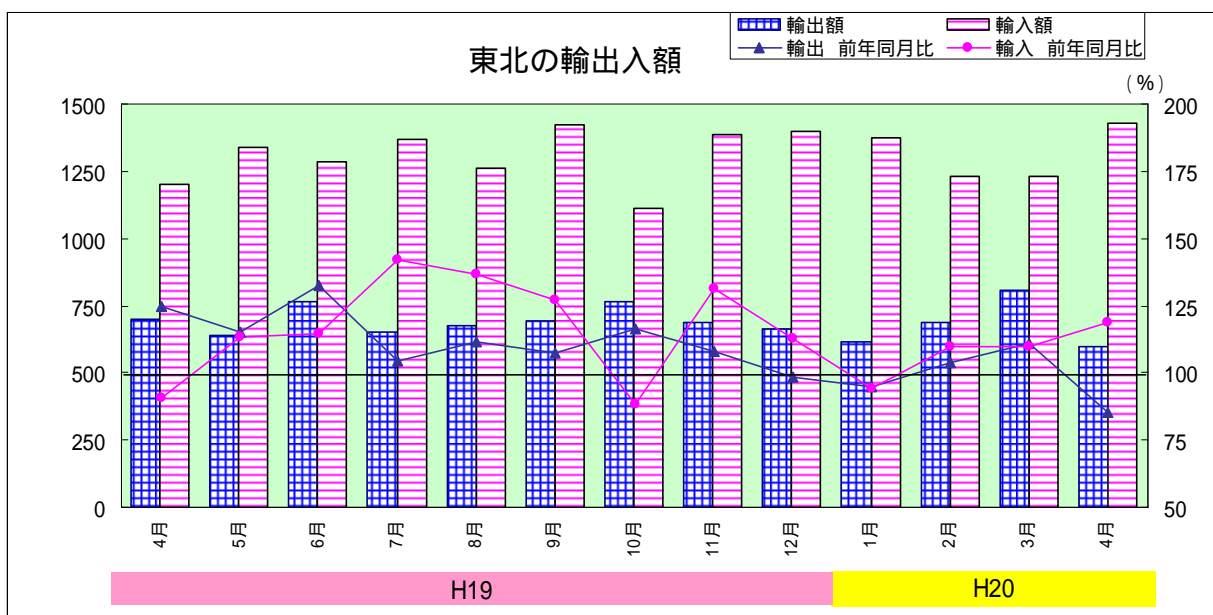
6. 完全失業率(20年1~3月期 総務省 労働力調査)

1~3月期の完全失業率(原数値)は5.4%で前年同期に比べ0.4ポイントの上昇となり悪化している。



7. 輸出入額（20年4月 横浜、東京、函館税関 貿易統計）

輸出は前年同月比85.5%の597.7億円、輸入では、前年同月比118.6%の1,427.3億円となり、輸出で前年同月を下回っている。



値は全て速報値